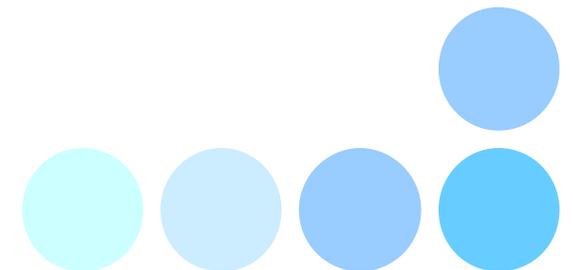


平成19年(2007年)3月期
第1四半期業績概況
～投資家向け説明会～

2006年7月28日
オムロン株式会社



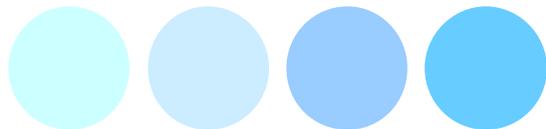
目次

2007年3月期 第1四半期業績概況と今後の見通し

1. エグゼクティブサマリー	P. 4
2. 第1四半期業績結果	P. 6
3. 上半期ならびに通期業績見通し	P. 19

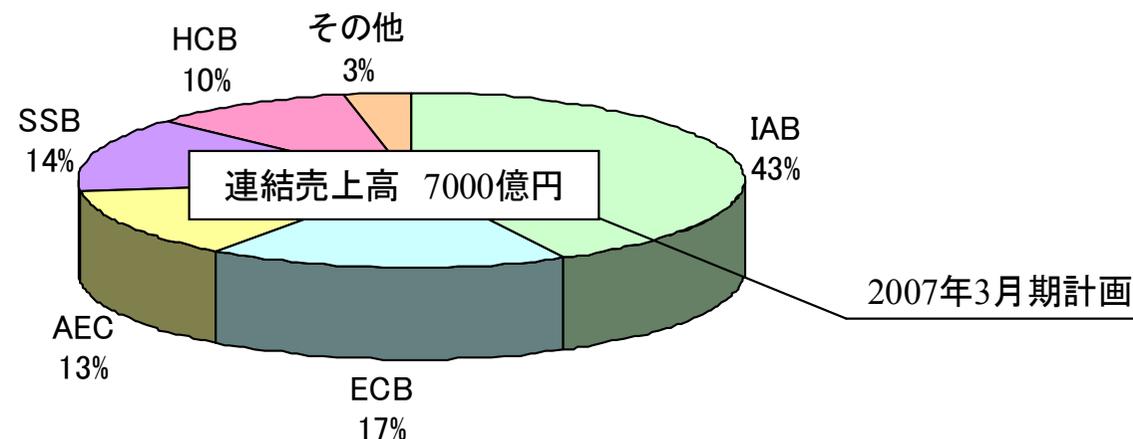
<注意事項>

1. 四半期の財務数値については、監査法人による監査・レビューを受けておりません。
2. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
3. 連結子会社数は147社、持分法適用関連会社数は16社です。
4. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii) 当社製品・サービスに対する需要動向、(iii) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv) 資金調達環境の大幅な変動、(v) 他社との提携・協力関係、(vi) 為替・株式市場の動向などがあります。
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

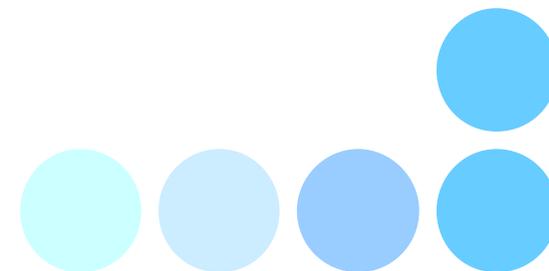


主要事業／主要製品／売上高構成

制御機器／FAシステム	インダストリアルオートメーションビジネス
IAB	: センシング機器、コントロール機器、セーフティ機器 各種検査装置 等
電子部品	エレクトロニクスコンポーネントビジネス
ECB	: リレー、スイッチ、コネクタ、液晶バックライト、アミューズメント機器用部品 モバイル機器搭載部品、光通信部品 等
車載電装部品	オートモティブエレクトロニクスコンポーネントビジネス
AEC	: キーレスエントリーシステム、パワーウィンドウスイッチ、車載用リレー レーザーレーダー、タイヤ空気圧モニタリングシステム 等
公共システム	ソーシャルシステムズビジネス
SSB	: 自動改札機、自動券売機、道路情報提供システム セキュリティマネジメントシステム、顔認識システム 等
健康機器	ヘルスケアビジネス
HCB	: 電子血圧計、体組成計(体脂肪計)、電子体温計、歩数計 ネブライザー、業務用電子血圧計、健康サービス事業 等
その他	
その他	: パソコン周辺機器、RFID、業務用ゲーム機 携帯端末向け情報サービス 等



1. エグゼクティブサマリー



エグゼクティブサマリー

2007年3月期はグランドデザイン2010(GD2010)の第2ステージ(2004年4月～2008年3月)の最終マイルストーン
2008年3月期業績目標に成長前倒しで迫り「増益基調での成長加速」を図る

第1四半期業績結果とポイント

■売上は計画どおり、営業利益は販管費・研究開発費の抑制で計画比増

(連結業績)	実績	前期比	計画比	
売上高	1,554億円	112.2%	100.3%	
営業利益	95億円	104.6%	126.9%	(営業利益率 6.1%)
税前利益	136億円	158.7%	136.1%	(税前利益率 8.7%)
当期利益	69億円	133.2%	114.3%	(当期利益率 4.4%)

■連結売上高: 前期比12%増加の要因は、電子部品(ECB)、車載事業(AEC)、健康機器(HCB)の好調

■営業利益: 前期比5%増加は、売上純増に伴う売上総利益増が主たる要因(詳細は差異分析 P10参照)
計画比27%増加は、販管費・研究開発費の抑制が主たる要因(詳細は差異分析 P11参照)

■税前利益: 前期比59%増加は東京本社売却損と退職給付信託設定益などによる営業外収益計上(41億円)

■事業状況: 売上は堅調に推移するも、利益面では車載事業(AEC)が苦戦

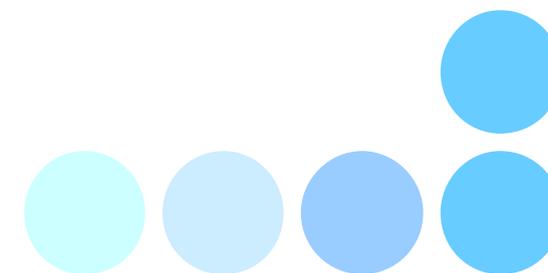
通期業績見通しとポイント

■売上、営業利益ともに当初計画どおりを見込む

(連結業績見通し)	通期	前期比	
売上高	7,000億円	111.7%	
営業利益	630億円	101.4%	(営業利益率 9.0%)
税前利益	650億円	101.0%	(税前利益率 9.3%)
当期利益	375億円	104.9%	(当期利益率 5.4%)

*前提条件 : 既発表のM&A案件(2件)によるPL影響数値は含まず

2. 第1四半期業績結果



FY2006.1Q

連結損益計算書

売上高1,554億円 営業利益率6.1%
連結売上は計画どおり。営業利益は販管費・研究開発費抑制により計画比27%増

(億円)

	06/3期 1Q 実績	07/3期 1Q 実績	前年比 増減 %	07/3期 1Q 当初計画	計画比 増減 %
売上高	1,385	1,554	112.2%	1,550	100.3%
売上総利益	559	610	109.0%	620	98.3%
販管費	353	399	113.1%	410	97.4%
R&D費	115	115	99.9%	135	85.3%
営業利益	91	95	104.6%	75	126.9%
税前利益	86	136	158.7%	100	136.1%
税引後利益	51	69	133.2%	60	114.3%

(円)

USDレート	108.1	114.8	6.7	110.0	4.8
EURレート	136.2	144.1	7.9	135.0	9.1

FY2006.1Q

連結売上高明細(国内／海外、事業別)

国内外ともにほぼ計画どおり
セグメント別では、電子部品(ECB)、車載電装品(AEC)、健康(HCB)が堅調に推移

(億円)

国内／海外	06/3期 1Q 実績	07/3期 1Q 実績	前年比 増減 %	07/3期 1Q 当初計画	当初計画比 増減 %
国内	773	793	102.7%	812	97.7%
海外*	612	761	124.3%	738	103.1%
合計	1,385	1,554	112.2%	1,550	100.3%

*直接貿易は海外に含む

事業別	実績	実績	%	当初計画	%
IAB	646	718	111.1%	735	97.7%
ECB	226	269	119.3%	255	105.7%
AEC	175	215	122.9%	210	102.3%
SSB	156	139	89.4%	150	92.9%
HCB	124	151	121.5%	150	100.4%
その他	58	62	106.8%	50	123.7%
合計	1,385	1,554	112.2%	1,550	100.3%

FY2006.1Q

連結営業利益(事業別)

制御機器事業(IAB)は計画どおり
電子部品(ECB)、健康機器(HCB)は好調に推移
車載電装品(AEC)は計画未達

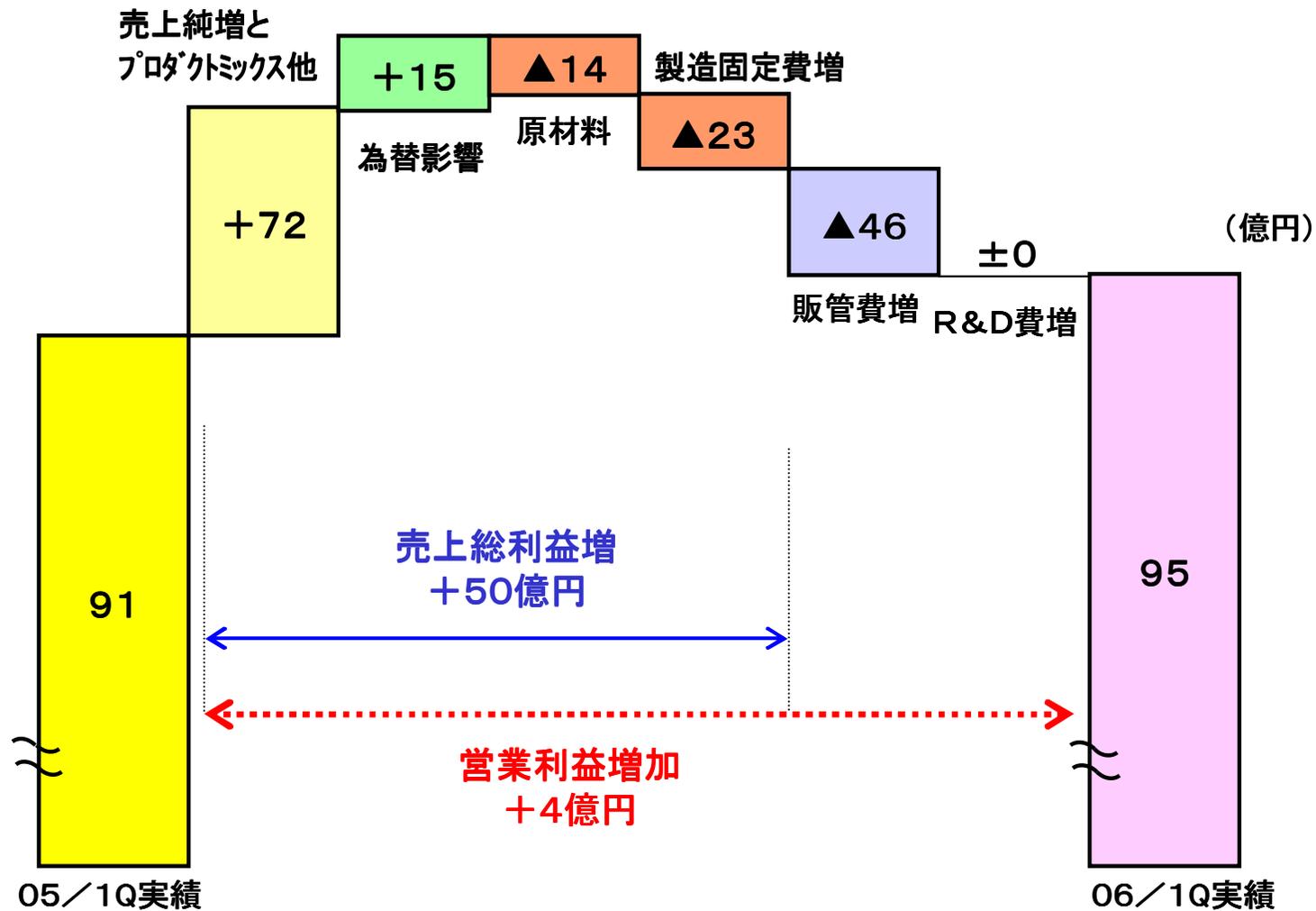
(億円)

事業別	06/3期 1Q 実績	07/3期 1Q 実績	前年比 増減 %	07/3期 1Q 当初計画	当初計画 増減 %
IAB	107	113	105.6%	111	101.8%
ECB	23	26	114.8%	21	125.9%
AEC	1	-8	-	1	-
SSB	-19	-18	-	-30	-
HCB	15	18	115.9%	11	163.0%
その他	6	3	55.3%	1	308.0%
本社費他消去	-42	-39	-	-40	-
合計	91	95	104.6%	75	126.9%

FY2006.1Q

連結営業利益差異分析(対前期比)

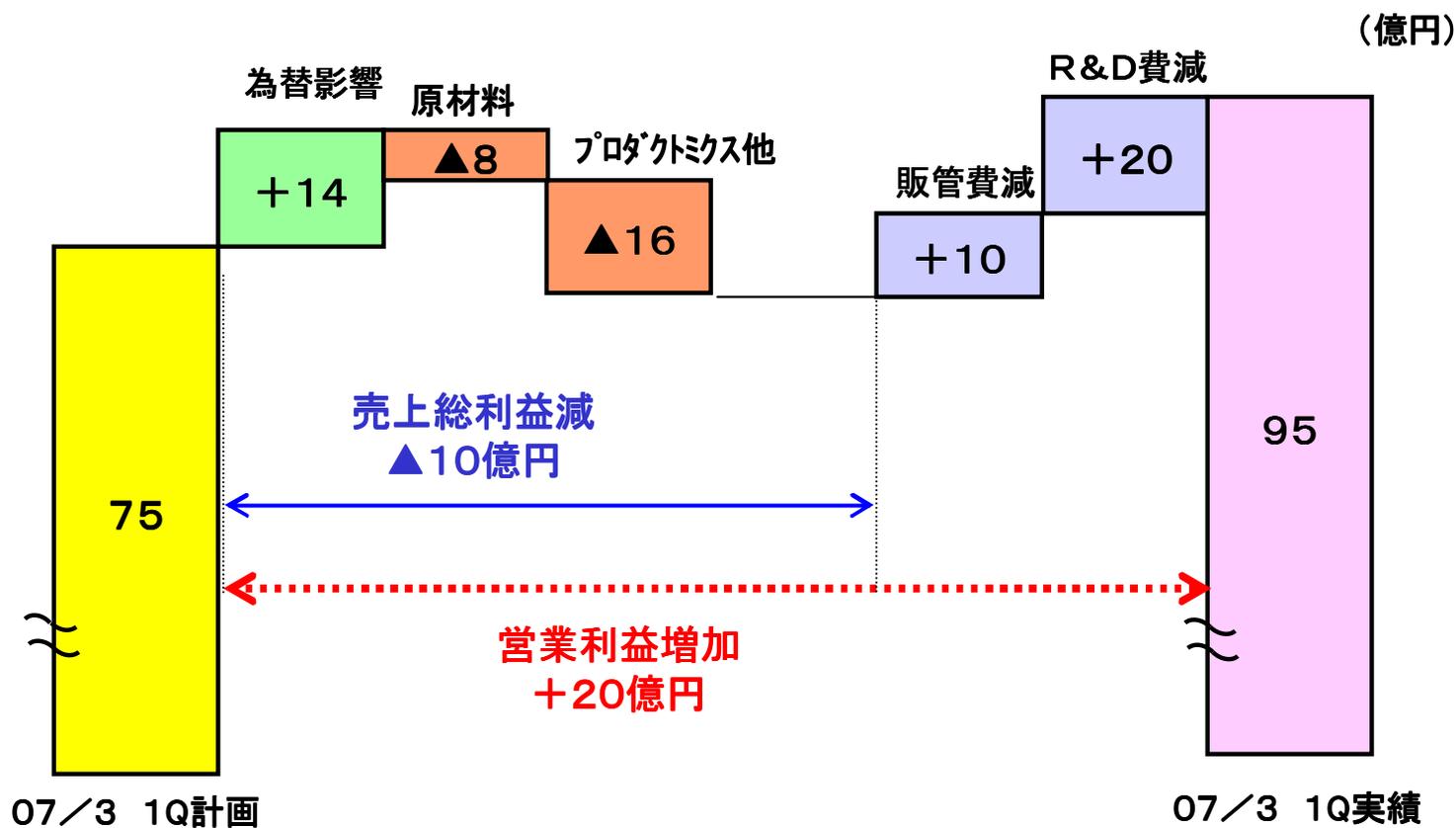
成長投資に伴う販管費が増加するも
売上純増、為替影響により前年同期を上回る



FY2006.1Q

連結営業利益差異分析(対計画比)

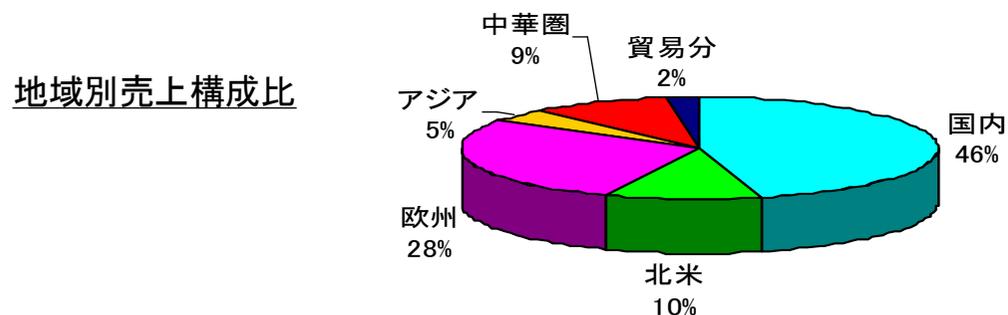
原材料費の高騰を為替影響でカバーするとともに
販管費・研究開発費の抑制で営業利益は計画を上回る



IAB (インダストリアルオートメーションビジネス)

売上高718億円、営業利益率15.7%
国内は前期末需要の反動で計画比マイナス、海外は計画どおり

IAB	(億円)				
	06/3期 1Q 実績	07/3期 1Q 実績	前年比 増減 %	07/3期 1Q 計画	計画比 増減 %
国内売上高	320	330	103.1%	350	94.1%
海外売上高	327	389	118.9%	385	100.9%
北米	54	75	140.7%	70	107.7%
欧州	175	198	113.2%	180	109.8%
アジア	30	32	108.6%	35	92.7%
中華圏	57	67	117.5%	85	78.4%
貿易分	12	17	136.0%	15	110.6%
売上総合計	646	718	111.1%	735	97.7%
営業利益	107	113	105.6%	111	101.8%
営業利益率	16.6%	15.7%		15.1%	



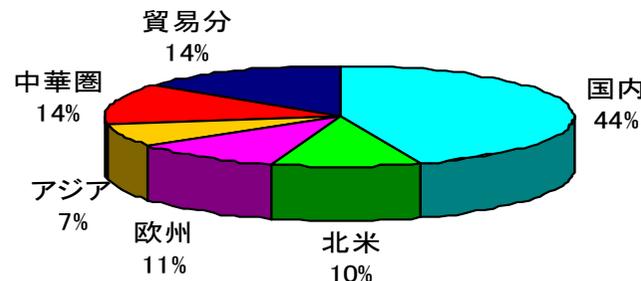
ECB(エレクトロニクスコンポーネンツビジネス)

売上高269億円、営業利益率9.8%
大型バックライト事業の本格的立ち上がり

(億円)

ECB	06/3期 1Q 実績	07/3期 1Q 実績	前年比 増減 %	07/3期 1Q 計画	計画比 増減 %
国内売上高	115	120	104.8%	123	97.5%
海外売上高	111	149	134.2%	132	113.2%
北米	22	27	123.4%	28	97.9%
欧州	31	28	91.8%	26	108.9%
アジア	13	18	135.8%	16	114.3%
中華圏	29	37	127.2%	42	88.6%
貿易分	16	38	245.1%	20	191.2%
売上総合計	226	269	119.3%	255	105.7%
営業利益	23	26	114.8%	21	125.9%
営業利益率	10.2%	9.8%		8.2%	

地域別売上構成比



FY2006.1Q

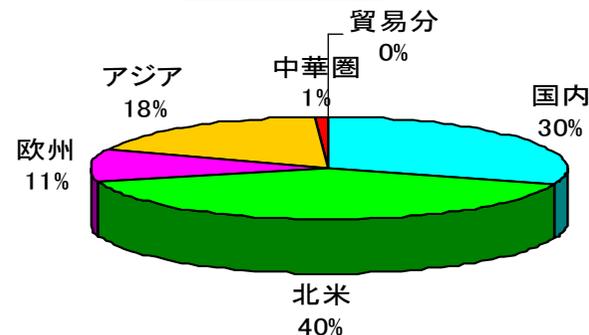
AEC(オートモーティブエレクトロニックコンポーネンツ)

売上高215億円、北米生産一部商品の生産性改善遅れと
原材料高騰により、営業利益マイナス

(億円)

AEC	06/3期 1Q 実績	07/3期 1Q 実績	前年比 増減 %	07/3期 1Q 計画	計画比 増減 %
国内売上高	65	65	99.7%	65	100.1%
海外売上高	109	150	136.8%	145	103.3%
北米	58	87	149.3%	82	105.8%
欧州	16	23	140.6%	22	104.0%
アジア	35	38	108.8%	40	95.6%
中華圏	0	2	-	1	193.0%
貿易分	0	0	-	0	-
売上総合計	175	215	122.9%	210	102.3%
営業利益	1	-8	-	1	-
営業利益率	0.4%	-		0.5%	

地域別売上構成比



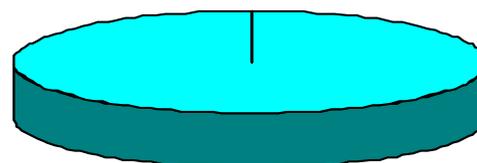
SSB (ソーシャルシステムズビジネス)

売上高139億円、営業利益は販管費の抑制により改善

(億円)

SSB	06/3期 1Q 実績	07/3期 1Q 実績	前年比 増減 %	07/3期 1Q 計画	計画比 増減 %
国内売上高	152	139	91.1%	144	96.4%
海外売上高	3	0	14.5%	6	8.2%
北米	0	0	104.3%	1	49.0%
欧州	0	0	—	0	—
アジア	0	0	—	0	—
中華圏	0	0	—	0	—
貿易分	3	0	0.1%	5	0.0%
売上総合計	156	139	89.4%	150	92.9%
営業利益	-19	-18	—	-30	—
営業利益率	-	-	-	-	-

地域別売上構成比



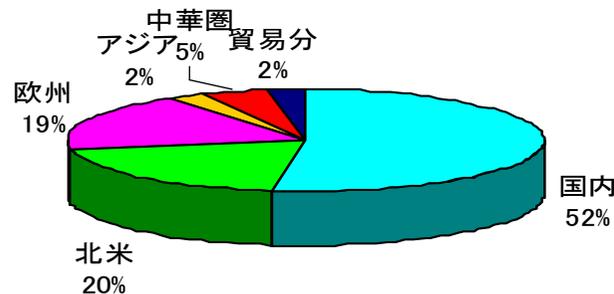
国内
100%

HCB (ヘルスケアビジネス)

売上高151億円、営業利益率11.9%
国内売上はほぼ計画どおり。海外売上は好調な欧州が牽引し、堅調に推移

(億円)					
HCB	06/3期 1Q 実績	07/3期 1Q 実績	前年比 増減 %	07/3期 1Q 計画	計画比 増減 %
国内売上高	63	78	124.1%	80	98.1%
海外売上高	61	72	118.7%	70	103.0%
北米	29	30	104.2%	35	85.3%
欧州	20	28	143.8%	22	127.8%
アジア	5	3	67.9%	3	111.3%
中華圏	7	7	101.7%	9	80.2%
貿易分	1	4	714.0%	1	357.0%
売上総合計	124	151	121.5%	150	100.4%
営業利益	15	18	115.9%	11	163.0%
営業利益率	12.5%	11.9%		7.3%	

地域別売上構成比



FY2006.1Q

連結貸借対照表

資産圧縮により株主資本比率は前期末61.6%から64.8%へ増加

(億円)

	2005年6月	2006年3月	2006年6月
総資産	5,703	5,891	5,569
現預金	702	523	589
売上債権	1,069	1,363	1,170
在庫	703	750	874
その他流動資産	305	288	295
固定資産	1,553	1,676	1,508
投資その他資産	1,371	1,291	1,133
総負債	2,599	2,262	1,963
短期借入金	245	28	29
長期借入金	21	10	12
その他負債	2,333	2,224	1,922
資本	3,104	3,629	3,606

FY2006.1Q

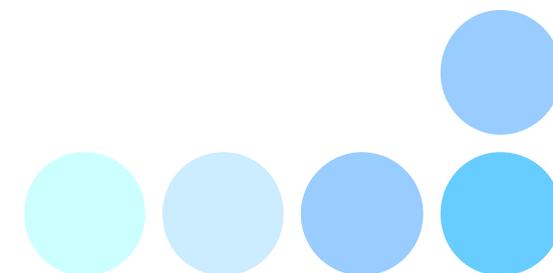
連結キャッシュフロー

将来に向けた投資を行った一方、東京本社の土地建物売却により
投資活動によるキャッシュフローは23億円の収入

(億円)

	2005年 6月	2006年 6月	(参考) 2006年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	81	67	517
投資活動によるキャッシュフロー	▲116	23	▲430
FCF	▲35	90	87
財務活動によるキャッシュフロー	▲32	▲36	▲383
換算レート変動の影響	▲38	12	13
期中の増減額	▲104	66	▲283
期末の現金残高	702	589	523

3. 上半期ならびに通期業績見通し



当初計画値より変更なし

(億円)

	06/3期 上期 実績	07/3期 上期 見通し	前年比 増減 %	07/3期 上期 当初計画	計画比 増減 %
売上高	2,854	3,200	112.1%	3,200	100.0%
売上総利益	1,172	1,295	110.5%	1,295	100.0%
販管費	732	815	111.4%	815	100.0%
R&D費	247	280	113.3%	280	100.0%
代行返上益	119	-	-	-	-
営業利益	313	200	64.0%	200	100.0%
税前利益	318	220	69.3%	220	100.0%
税引後利益	167	125	74.7%	125	100.0%

(円)

USDレート	109.9	112.8	2.9	110.0	2.8
EURレート	136.2	140.2	4.0	135.0	5.2

*前提条件：既発表のM&A案件(2件)によるPL影響数値は含まず

当初計画値より変更なし

(億円)

	06/3期 通期 実績	07/3期 通期 見通し	前年比 増減 %	07/3期 通期 当初計画	計画比 増減 %
売上高	6,268	7,000	111.7%	7,000	100.0%
売上総利益	2,534	2,820	111.3%	2,820	100.0%
販管費	1,527	1,635	107.1%	1,635	100.0%
R&D費	505	555	109.9%	555	100.0%
代行返上益	119	-	-	-	
営業利益	621	630	101.4%	630	100.0%
税前利益	644	650	101.0%	650	100.0%
税引後利益	358	375	104.9%	375	100.0%

(円)

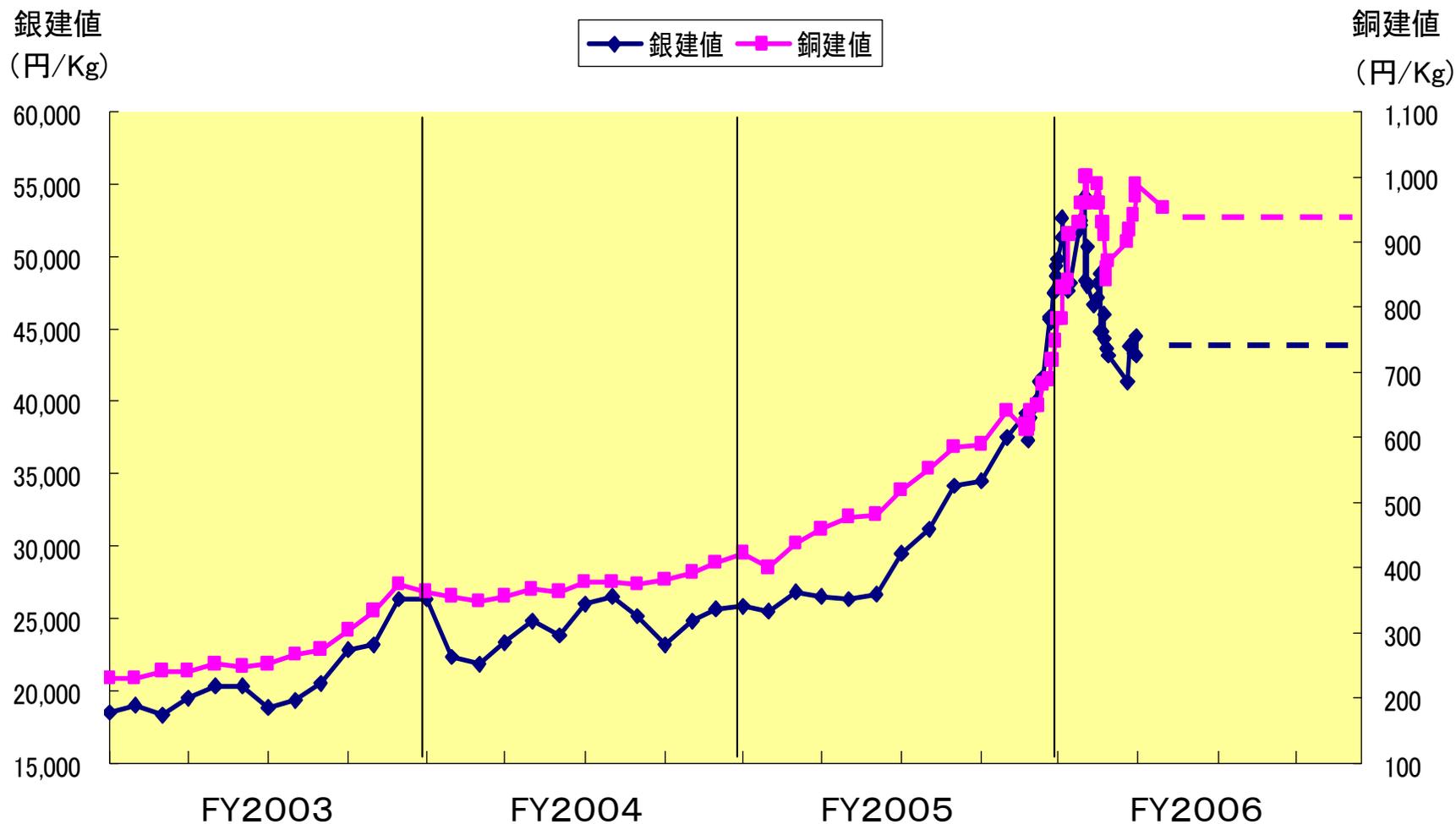
USDレート	113.4	111.5	-1.9	110.0	1.5
EURレート	138.2	137.8	-0.4	135.0	2.8

* 前提条件 : 既発表のM&A案件(2件)によるPL影響数値は含まず

FY2006

今後のリスク要因のひとつ

銅建値・銀建値は、06年3月後半から5月にかけて急騰
6月に銅・銀ともにいったん反落したが、再び上昇傾向





(参考情報)

M & Aの状況



セーフティ事業グローバルNo.1を目指して 北米トップメーカーのSTI社を買収

第2Q期間中に
連結組入れ予定

背景

社会の変化と顧客ニーズの変化: グローバルベースでのCSR強化の社会トレンドから、製造業では生産性追求だけではなく、安全性を両立させるニーズが急速に高まっている。

セーフティコンポ市場の拡大: グローバルでは15%/年で成長。2008年度には1700億円に達する。多様な商品を組み合わせることで機械安全を実現する必要がある。

目的

①品揃えの充実と事業領域の拡大

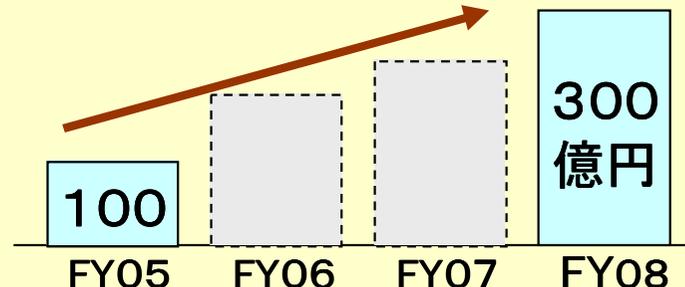
・STI社の強みであるセーフティコンポを得て、トータルソリューション力を向上させる。

②開発力強化による新商品創出加速

・光応用技術と堅牢対応ノウハウを得て、センシング&コントロール技術と融合させる。

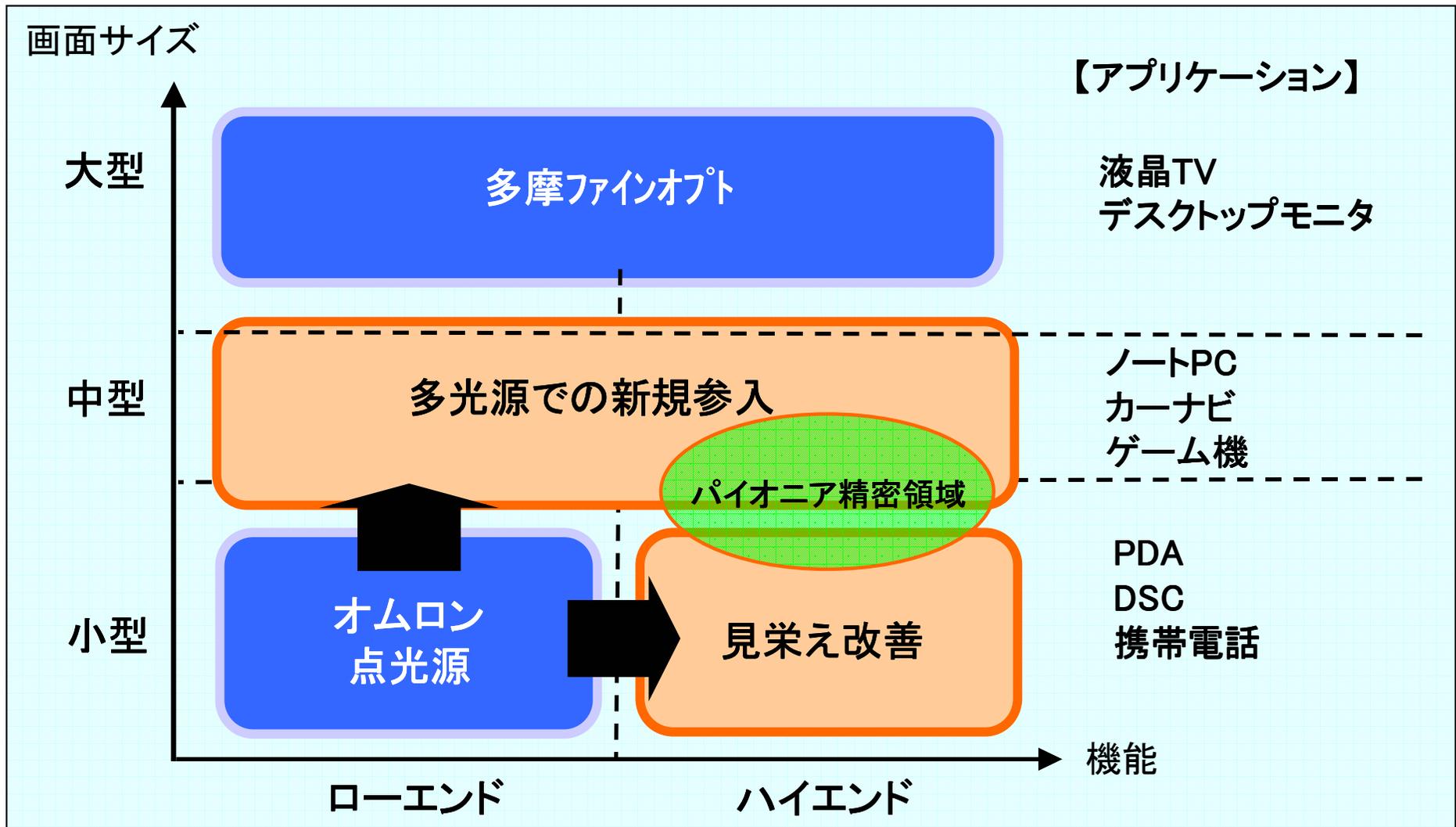
期待効果

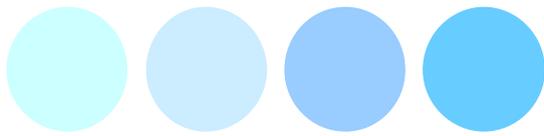
08年度300億円の売上でグローバルシェアNo.1をめざす。



世界No1の液晶バックライトメーカーの実現をめざして
強みを補完し小型～中型～大型までのフルライン化をはかる

第2Q期間中に
連結組入れ予定





人と機械のベストマッチングをめざして

オムロン株式会社



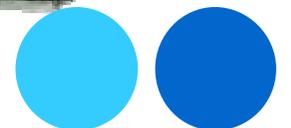
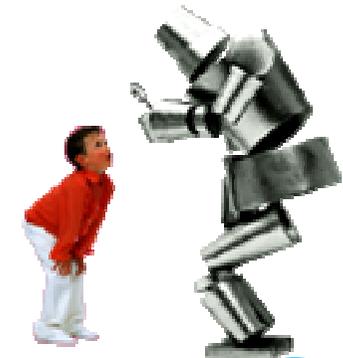
＜お問い合わせ＞

財務IR室 経営IR部

電話: 03-3436-7170

Email: omron_ir@omron.co.jp

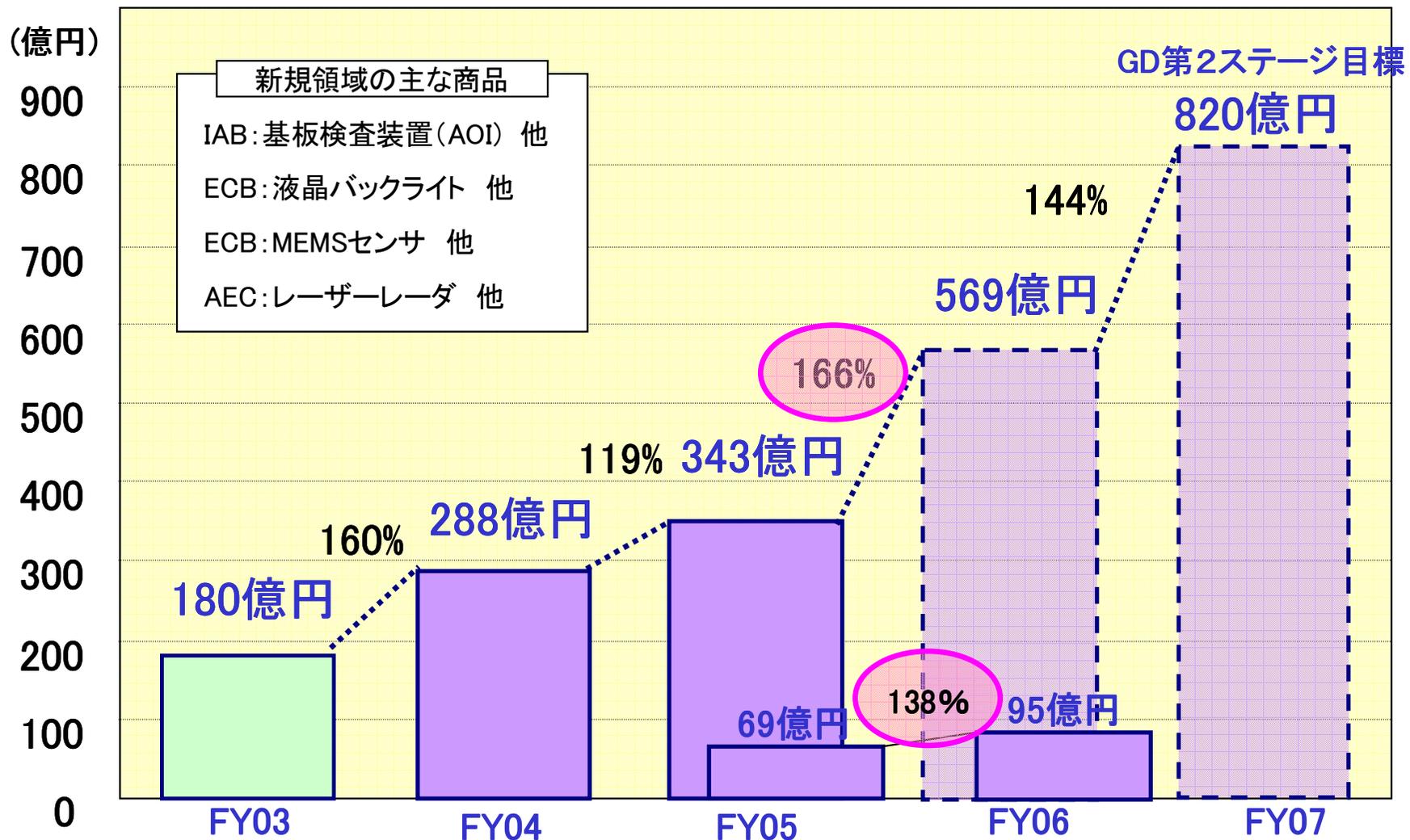
HPアドレス: www.omron.co.jp



重点戦略の進捗状況 (1)新規領域の売上成長

FY2006.1Q

08/3期売上目標を当初680億円から820億円に増額
07/3期は166%成長の569億円をめざす



重点戦略の進捗状況
(2)中華圏の売上成長

FY2006.1Q

2006年1Qは、前期比27%増加するも計画比マイナス

